

ISP&クラウド事業者の集い in 神戸 開催報告書

日にち：2016年 2月25日（木）～26日

※2月25日（木）10:00～「京」見学会（理化学研究所 計算科学研究機構）

※2月27日（土）11:00～ 「酒蔵巡り」・集合場所「阪神魚崎駅改札」

場所：三宮コンベンションセンター

〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通 2-2-10 ワンノットトレーズビル 5F

プログラム委員：株式会社イプリオ 石田卓也、ソネット株式会社 宮内正久

参加者：80名

プログラム：

■2月25日（木）

<見学>

※2月25日（木）10:30～「京」見学会（理化学研究所 計算科学研究機構）

<http://www.aics.riken.jp/jp/k/>

<セミナー>

12:30～受付開始

13:00～13:05 開会挨拶 地域ISP部会 部会長 晋山孝善氏

13:05～14:00 「神戸にイノベーションコミュニティを創る～『神戸ITフェスティバル』が見据える未来」
舟橋健雄氏

株式会社神戸デジタル・ラボ 広報室、「神戸ITフェスティバル」オーガナイザー、
「TEDxKobe」オーガナイザー

14:00～14:55 「個人情報保護改正等について」

個人情報保護委員会 事務局総務課 上席政策調査員・弁護士 和田洋一氏

15:00～15:20 「通信・放送事業者の問題解決をサポート」

総務省電気通信紛争処理委員会事務局 調査専門官 中野 誠氏

15:20～15:30 休憩

15:30～17:15 「Wi-Fi関係のパネルディスカッション」

モデレータ：JAIPA 副会長 立石聡明氏

パネラー：兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課
課長補佐兼サイバー犯罪対策課 警部 三輪健氏
九州大学大学院経済学研究院教授 実積寿也氏

17:20～18:30 「灘の日本酒」

株式会社神戸酒心館 湊本雅和氏

19:00～懇親会

■2月26日（金）

10:00～10:35 「update-trafficにおけるISPの苦悩」

Update-TrafficWG 主査 木室 友裕氏（株式会社 大塚商会）

10:40～12:00 「ネットワーク中立性：基本フレームワークと最新動向」

九州大学大学院経済学研究院教授 実積寿也氏

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～13:55 「データに基づく減災対策 ー阪神大震災21年ー」

神戸市企画調整局 ICT 創造担当課長 松崎太亮氏

14:00～14:55 「事業法改正による消費者保護ルール」

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課 課長補佐 大磯一氏

15:00～15:50

「IoT 時代における高度サイバー攻撃」
一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター (JPCERT/CC)
早期警戒グループ 情報分析ライン リーダー 洞田慎一氏

15:50～16:00

休憩

16:00～16:50

セキュアな IoT の実現に向けた取組の事例と今後の課題
～ 製造現場をクラウドでつなぐ Industry4.1J 実証実験のご紹介 ほか～
NTT コミュニケーションズ株式会社 技術開発部 IoT クラウド戦略ユニット
経営企画部 IoT 推進室 兼務 IoT・エバンジェリスト 担当部長 境野哲氏

16:55～18:30

クラウドと IoT (パネルディスカッション)
モデレータ：さくらインターネット株式会社 代表取締役 田中邦裕氏
パネラー：NTT コミュニケーションズ株式会社
技術開発部 IoT クラウド戦略ユニット 経営企画部 IoT 推進室
兼務 IoT・エバンジェリスト 担当部長 境野哲氏
GMO クラウド株式会社 代表取締役 青山 満氏
ニフティ株式会社
クラウド事業部 モバイル・IoT ビジネス部 IoT ディレクター 森藤大地氏

19:00～懇親会

■2月27日(土) 11:00～ 「酒蔵巡り」・集合場所「阪神魚崎駅改札」

概要：

第44回目の集いは「神戸」。最近の集いでは、恒例になりつつある見学会ですが、毎回プログラム委員が頑張ってお何かを見つけてくれる。今回は理化学研究所 計算科学研究機構の「京」の見学会が実現しました。事務局は準備の為、行かれなかったのですが、Facebook 等でも発信しても良かったらしく、ずいぶん UP している方々がいらっちゃって、「男の子が目をきらきらさせて見入っている」と言う言葉が良く合う光景を写真で拝見しました。皆さんに喜んでいただけて良かったです。ご協力いただいた方々ありがとうございました。土曜日には、「灘の酒蔵見学」ということで、25日(木) 株式会社神戸酒心館 湊本雅和氏に灘の酒について、ご講演いただいた知識を元に、プログラム委員の石田卓也氏に蔵開き(菊正宗)、浜福鶴、桜正宗等を説明有りの見学、試飲に連れて行っていただきました。とても有意義なコースだったのに参加者が少なかったのが残念でしたが、たまに飲んでいる日本酒の歴史、酒作りの様子が拝見できて良かったです。

さて、今回のセミナーですが、地元の情報として「神戸にイノベーションコミュニティを創る～『神戸 IT フェスティバル』が見据える未来」舟橋健雄氏にお話しいただきました。神戸 IT フェスティバルは2011年から始まり、地域と IT を結ぶイベントのことで、IT という道具を切り口に様々な課題や解決、地域の未来を考える機会を提供しているそうです。企業出展ブースやセミナー、そして参加型イベントとしてワークショップや体験の場も設けているそうです。最初は、IT 関連のイベントに参加されている際に、神戸にも独自の IT イベントを作りたいと、同じ思いの方々と始



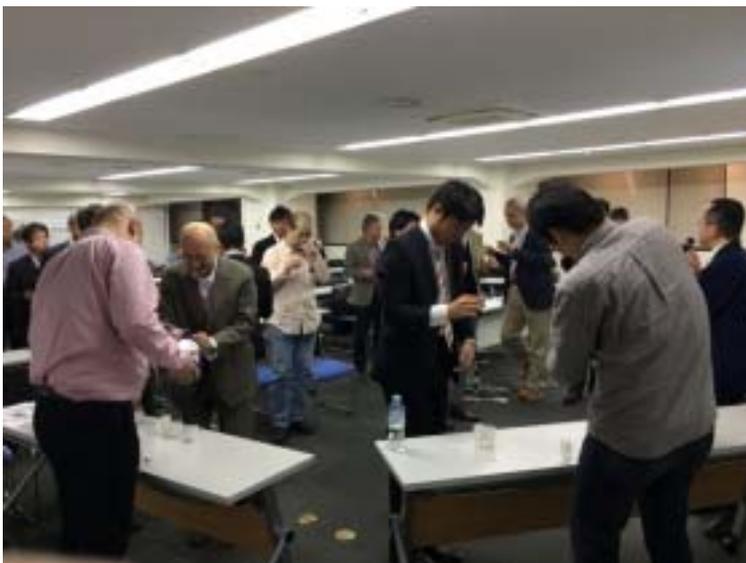
めたそうですが、年々大きくなっているようで、舟橋さんは実行委員で、全体のテーマを決めたり、企業・団体へのアプローチも行い、毎日忙しくされているそうです。とにかくお忙しいそうで、今回もこのご講演の時間しか空いていなく、懇親会等でお話しできないのが残念でした。

次は、「個人情報保護改正等について」として、今回初めて個人情報保護委員会事務局の上席政策調査員・弁護士 和田洋一氏にお話しいただきました。今回の改正もさることながら、「個人情報保護法」自体の理解が出来てないのではないかと思います、個人情報保護制度の体系など分かり易く解説いただきました。情報通信技術の発展により制度当時には想定されなかった件や定義の明確化、名簿や対策やグローバル化への対応、今後の取り組みなど、今回の改正ポイントのお話しも充実しておりました。次は毎回恒例の「通信・放送事業者の問題解決をサポート」として総務省電気通信紛争処理委員会事務局からのお知らせです。

しばらく前から Wi-Fi については、協会内のテーマになっているところですが、今回は兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の三輪健氏に「サイバー犯罪の現状」を九州大学大学院 実積寿也氏には、「公衆無線 LAN のセキュリティ問題」をお話しいただき、モデレータを当協会 立石副会長が担当。パネルディスカッションをしました。兵庫県警のサイバー犯罪の現状は「インターネットバンキングに係る不正送金被害」「偽サイトによる詐欺被害」等の被害状況と過去から現在までの推移。公衆無線 LAN については、急速な普及、利用料無料、誰でも利用可、公共空間で利用可能、手続きが容易という観光振興上のメリットとして、あげられるが、匿名化の問題や公衆無線 LAN が悪用された事例を取り上げ、サイバー捜査の特殊性のお話しをいただきました。また、政府の動向として、2015 年 9 月に閣議決定された「サイバーセキュリティ戦略」を受け、各省庁と対応の検討に入ったそうです。実積先生からは、各自治体の公衆無線 LAN（認証機能）提供の現状、今後、環境整備によって期待される効果をあげていただきました。今改めて考えるべきものは、セキュリティ

水準は何か、公衆無線 LAN に対する技術的な手当が目的達成に最適な手段なのか、利用者のリテラシーの改善は？ということなのではないか。とのこと。この整備については、年単位で考えていかないとならない。

1 日目最後は、「灘の日本酒」として、株式会社神戸酒心館 湊本雅和氏にお話しいただきました。ワインにも精通しているとのことですが、日本酒が出来るまでの行程、海外を含め様々なところでご講演しているらしくとても楽しいお話しをお伺いできました。残った時間を利用して試飲会ももちろん行いました。



さて、2月26日（金）二日目の始まりです。Update-Traffic については、日々にアプリケーションのアップデートの際にネットワークの輻輳が起きる。それに対して ISP が回線を増強する等の対策をしているのに追いつかない等、また、利用者の苦情に対してどのような対応をしたらいいのか。そんな感じのところからこの案件を検討するタスクフォースを当協会で作りました。今回は、会員向けにアンケートを実施して、現状把握をした報告を本タスクフォースの主査の木室氏にお話しいただきました。会場からも質問や意見が出て、活発に議論できたと思います。引き続き本件については、検討して行く予定です。これに関連して、「ネットワーク中立性：基本フレームワークと最新動向」前日もパネルディスカッションでご登壇いただいた実積先生の再登場です。ネットワーク中立性問題の本質は何なのか、海外の情報を交えながら、Zero-rating のお話しを伺いました。お昼休憩を挟んで、今年で 21 年となる阪神淡路大震災の体験をもとに「データに基づく減災対策 -阪神大震災 21 年-」として、神戸市企画調整局 ICT 創造担当課長 松崎太亮氏にお話しいただきました。震災時に自転車に乗り、ビデオ撮影をして情報を集めたことや、その時の状況が生々しく記録されているのを拝見しまし

た。自分がそう言う状況になったときにどうするのか、考えさせられる映像でした。今回 20 年を超え、阪神淡路大震災の被災地からの情報発信として、インターネットによる災害情報発信の課題や、政策におけるデータ活用の視点、ビッグデータで読み解く都市安全政策（奇しくもスーパーコンピュータ「京」の話）、モバイルデータを活用した安全対策、データ活用で組織・政策が変わる、CIVIC TECH が災害支援を変える。というような、今までのデータをどうするのか、活用の話をしていただきました。



次は、「事業法改正による消費者保護ルール」を総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政課 課長補佐 大磯一氏にお話しいただきました。この件は電気通信事業法改正とともに事業者へ大きくのしかかってくる法律となります。ここまで来るのに当協会でも運営する部会でも毎回のように議論や対策を話し合ったものでした。次は、「IoT 時代における高度サイバー攻撃」として、一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター (JPCERT/CC) 早期警戒グループ 情報分析ライン リーダー 洞田慎一氏に「セキュアな IoT の実現に向けた取組の事例と今後の課題～ 製造現場をクラウドでつなぐ Industry4.1J 実証実験のご紹介」として NTT コミュニケーションズ株式会社 技術開発部 IoT クラウド戦略ユニット 経営企画部 IoT 推進室 兼務 IoT・エバンジェリスト 担当部長 境野哲氏にそれぞれ、IoT 関連のお話を頂戴しました。ここに来て IoT の言葉を聞かない日は無いと言うほど、注目をされています。今回の集いの後半は、クラウドと IoT を取り上げ、さくらインターネット株式会社 代表取締役 田中邦裕氏がモデレータをして当協会クラウド部会部会長青山氏もパネラーに参加、現状と今後クラウドがどう携わっていくのか等の会場を交えた意見交換の場となりました。

1 日半にわたるセミナーは、神戸というある程度交通の便が良いところなのに参加者申込み者が少ないと心配

していましたが、どうにか 80 名の参加をいただきました。参加いただいた皆様ありがとうございました。プログラム委員の皆様、お疲れ様でした。次回もさらに充実した会にしたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(M)

